

## オープンデータ利活用シンポジウム in 松山

－ データがヒトを豊かにする社会の実現に向けて －

### 実施報告書

- 1 開催日時 : 平成30年3月6日(火曜日) 14時00分～17時00分
- 2 開催場所 : ピュアフル松山 6F 鳳凰の間(松山市宮田町132)
- 3 主催 : 総務省 四国総合通信局、一般財団法人全国地域情報化推進協会  
共催 四国情報通信懇談会
- 4 後援 : 愛媛県、松山市、四国経済連合会、一般社団法人愛媛県法人会連合会
5. 出席者 : 80名(受講者64名、講師・事務局16名)
6. セミナーの概要

さまざまなデータを連携させAIを活用することは、新たなサービスの創出や生産性の向上につながります。例えば、健診データや医療記録などからは、個人の症状や状況に応じたきめ細かな健康・医療・介護サービスを、気象データや農作物の生育状況記録などからは、収益性を高める農業(儲かる農業)など、「データ」の利活用でヒトを豊かにする社会を実現することができます。

これらのことを踏まえ、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授の庄司昌彦氏、筑波大学システム情報系社会工学域教授の川島宏一氏、内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室参事官補佐の小澤孝洋氏から、オープンデータやデータ活用に関する最新動向や、今後、官民それぞれが取り組むべき事項についてご講演をいただきました。

また、講演の後、川島宏一教授をコーディネーターとし、庄司昌彦准教授、西予市の山下みさと情報推進課課長補佐、NECソリューションイノベータ株式会社の柴垣宏一氏によるパネルディスカッションを行い、オープンデータやデータ活用について、今後、官民が取り組むべき事項など、活発な議論がなされた。川島教授からは、主催者に対して、セミナーのみでなく、車座など出席者と対話ができる形式での行事の開催をやって欲しい旨のご発言があった。



開会挨拶

四国総合通信局

林 信秀 情報通信部長



来賓挨拶

松山市

西泉 彰英 副市長



講演 国際大学 GLOCOM 准教授  
庄司 昌彦 氏



講演 筑波大学システム情報系社会工学域  
教授 川島 宏一 氏



講演 内閣官房 IT 総合戦略室  
参事官補佐 小澤 孝洋 氏



パネルディスカッション



- 【講演 1】 演題:オープンデータのすすめ  
講師:国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授 庄司 昌彦(しょうじ まさひこ)氏
- 【講演 2】 演題:松山市におけるオープンデータの取組と地域活性化  
講師:筑波大学システム情報系社会工学域 教授 川島 宏一(かわしま ひろいち)氏
- 【講演 3】 演題:官民データの全国展開  
講師:内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室 参事官補佐 小澤 孝洋(おざわ たかひろ)氏

【パネルディスカッション】

テーマ:「データ」がヒトを豊かにする社会の実現に向けて

コーディネーター:筑波大学システム情報系社会工学域教授 川島 宏一(かわしま ひろいち)氏

パネラー:西予市総務企画部情報推進課 課長補佐 山下 みさと(やました みさと)氏

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授 庄司 昌彦(しょうじ まさひこ)氏

NEC ソリューションイノベータ株式会社 イノベーション戦略本部 主任 柴垣 宏一(しばがき こういち)氏